

# 袴田死刑囚Tシャツで支援

86年に清水市(現静岡市清水区)でみそ製造会社専務一家4人が殺害された「袴田事件」で、無実を訴えて再審を請求中の元プロボクサー、袴田死刑囚(71)の支援を訴えるTシャツが完成した。裁判で重要証拠とされた血の付いたフリースの製造元とされる、「鐘自織維工業」(本社・東京都葛飾区)が製作し、収益は支援団体に寄付する。同社の山本和社長(49)は「物的証拠を見る」と、袴田死刑囚は無実だと信じている。

【翌月記事】

## 「今すぐ、自由を」メッセージ込め



「袴田さんに自由を」という英語メッセージのTシャツ。新田ボクシングジム提供

フリースは、検察側が類の一つ。事件後、現場袴田死刑囚が犯行時に身の工場のみそタンクからつけていたと主張する。発見された。しかし、死刑血痕が付いた「5点の衣」の家族が保管していた

### 重要証拠「血痕下着」製造元が製作

#### 収益は支援団体に寄付

衣類の中に、証拠品と同じ特徴のフリースがあるのを弁護団が発見。弁護団は「証拠品は捏造された」と反論している。山本社長は「大のボクシングファンで、ボクシング雑誌などで事件について知った。事件当時は効かったが、警察が同社に製造について聞きに来たので対応している。昨年支援者を集め、さらに事件について詳しく知ることができた。同社は年内にもインターネット販売を始める予定で、今後デザインも増やす計画。問い合わせは袴田さんを支援する清水・静岡市民の会(054・3666・2468)。

3種類。すべては「FREE HAKAMADA NOW! (今すぐ袴田さんに自由を)」というメッセージが入り、ボクサー時代の袴田死刑囚の写真がプリントされている。価格は1枚2800円。今月4日に袴田死刑囚の姉、秀子さん(74)が東京拘置所に面会に訪れた際、Tシャツを見せると、死刑囚はじゅくくと見つめていたという。先月27、28日に東京都の後楽園ホールであったボクシングの日本新人全戦準決勝では、日本プロボクシング協会袴田殿受